

2020年度 クリニカル・インディケーター（CI）

クリニカルインディケーターとは、実際に行われている医療の経過や結果を定量的に評価する指標のことで、医療の質を客観的に測るものです。

当院では、以下のクリニカルインディケーター(臨床指標)を設定して、医療水準や質の面での改善課題や目標を明確にして取り組んでいます。

1. 病院全体としての指標

① 患者満足度

退院される際のアンケートで高評価をいただいた方の割合で患者さんの満足度を評価します。

職員の対応に関しては399名の回答があり、患者満足度は86.7%でした。

治療・検査・説明に関しては399名の回答があり、患者満足度は81.7%でした。

	職員の対応		治療・検査・説明 について	
	回答数	割合	回答数	割合
高評価	346	86.7%	326	81.7%
苦情	42	10.5%	34	8.5%
無回答	11	2.8%	39	9.8%

② 外来総数

当院外来を受診された方の人数です。

多くの病院の中から当院を選択されたことが指標の一つとなります。

初診料算定患者数 6,727名（初めての受診や久しぶりの受診の方）

上記以外 55,974名（継続して受診されている方）

合計 62,701名

③ 紹介患者

他の医療機関から当院をご紹介いただき、受診された方の人数と割合です。

地域連携の状況が把握できます。

紹介患者数 1,414名

紹介率* 9.7%

*（初めての受診や久しぶりの受診の方のうち、主治医名を記載した紹介状を持参された方の割合）

④ 入院総数

当院に入院された方の延べ人数です。

多くの病院の中から当院を選択されたことが指標の一つとなります。

入院総数 36,620名

⑤平均在院日数

入院日数の平均です。医療の質をはかる指標の一つと考える場合もあります。

平均在院日数 14.4日

⑥手術数

全身麻酔と腰椎麻酔で手術を行った数（外来処置室や入院処置室での局所麻酔は除く）です。

全身麻酔手術件数 252例

うち、がん 125例

腰椎麻酔手術件数 1,231例

うち、泌尿器 1例

合計 1,483例

⑦手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

全身麻酔や腰椎麻酔の手術時に予防的抗菌薬を手術開始前1時間以内に投与できた割合です。

予防的抗菌薬投与率 100%

⑧入院患者の転倒・転落発生率

入院中にベットから落ちたり、歩行時に転んで外傷を負った割合です。

転倒・転落率 0.68%

⑨褥瘡発生率

入院中に褥創（床ずれ）が発生した割合です。

褥瘡発生率 0.12% 緩和ケア病棟以外

2.88% 緩和ケア病棟

⑩死亡退院患者率

死亡して退院した割合です。

死亡退院患者率 0.09% 緩和ケア病棟入院患者を除く

⑪入院中の緊急再手術率

全身麻酔手術後合併症により緊急で再手術が必要となった割合です。

1回目の入院から2か月以内に再手術を行った割合です。

緊急再手術率 5.95% 15例

⑫退院後6週間以内の緊急再入院率

術後合併症等により前回退院後予定外で6週間以内に緊急再入院した割合です。

緊急再入院率 0.98% 33例

2. 大腸がん（結腸がん・直腸がん）の臨床指標

① 全患者数（全入院治療例）

初回手術を施行した患者数です。

結腸	56名
直腸	69名
合計	125名

② 手術件数

初回手術症例です。部位は大腸癌取扱規約第7版に準拠しています。

結腸癌手術	56件	盲腸から直腸S状部（RS）に癌がある手術
直腸癌手術	69件	上部直腸（Ra）から肛門管（P）に癌がある手術
合計	125件	

癌がとりきれた手術と癌が明らかに残った手術の数をそれぞれ示します。

根治手術	112例	根治度CurAとCurB [癌がとりきれた手術]
非根治手術	13例	根治度CurC [癌が明らかに残った手術]

③ 術後リハビリ実施率

術後早期回復のために呼吸器を含め理学療法士がリハビリを行った率です。

結腸	100%
直腸	100%
合計	100%

④ 術後合併症率

手術に伴う合併症（軽症を含む）が発生した率です。

術後合併症率	45.6%	57例
--------	-------	-----

⑤ 治療関連死亡率

術後1か月以内に手術に伴う合併症で死亡した割合です。

治療関連死亡率	0%	0例
---------	----	----

⑥ 5年生存率

各病期ごとの手術後5年に生存している割合です。部位等は大腸癌取扱規約第7版に準拠しています。

(死亡とは大腸癌による死亡と他の病気(自殺も含む)による死亡を合わせた全死亡とします。)

2006年から2015年の間に当院で初回手術を施行した症例の5年生存率です。

ステージ I	5年生存率	患者数		
結腸	97.0%	134		
直腸	94.4%	217		
ステージ II	5年生存率	患者数		
結腸	89.9%	124		
直腸	83.0%	165		
ステージ III a	5年生存率	患者数		
結腸	86.9%	102		
直腸	85.2%	112		
ステージ III b	5年生存率	患者数		
結腸	69.3%	24		
直腸	64.0%	102		
ステージ IV	5年生存率	患者数	根治度B	根治度C
結腸	19.6%	57	67.1% 14例	5.1% 43例
直腸	24.0%	108	45.8% 43例	8.3% 65例

⑦ 大腸癌ポリペクトミー実施件数

大腸内視鏡にて切除した大腸癌数です。

(粘膜内癌と粘膜下層浸潤癌の一部で、追加腸切除した症例は除く)

結腸	41	粘膜内癌 (m癌)	26例
		粘膜下層浸潤癌 (sm癌)	15例
直腸	25	粘膜内癌 (m癌)	8例
		粘膜下層浸潤癌 (sm癌)	17例
合計	66		

⑧ 化学療法延患者数

根治切除後の補助化学療法と切除不能・再発大腸癌の化学療法を施行した延べ患者数です。

注射	87名
内服	62名

⑨オピオイド使用例に対する服薬指導人数

医療用麻薬を使用している患者に使用方法や対処方法を指導した数

服薬指導人数 10名

⑩ 大腸癌検診数

集団検診での受診者数です。

便潜血	80,394名	便潜血検査を受診
便潜血 (-) SCS	1,843名	便潜血検査は陰性でS状結腸内視鏡検査による検診を受診
SCSのみ	377名	S状結腸内視鏡検査による検診のみを受診

⑪ 大腸癌検診による発見率

集団検診後精密検査を受診して大腸ポリープや大腸癌と診断された割合です。

便潜血→ポリープ	2.95%	2,368名
便潜血→がん	0.23%	188名
便 (-) SCS→ポリープ	8.14%	150名
便 (-) SCS→がん	0.11%	2名
SCSのみ→ポリープ	11.14%	42名
SCSのみ→がん	0.27%	1名

⑫大腸癌検診による陽性率

集団検診で精密検査や治療が必要と診断された方の割合です。

便潜血	8.07%	6,489名
便潜血 (-) SCS	12.53%	231名
SCSのみ	14.59%	55名

⑬大腸癌検診の精検受診率

集団検診で精密検査が必要と診断された方が実際に検査を受けられた割合です。

便潜血	80.46%	5,221名
便潜血 (-) SCS	83.98%	194名
SCSのみ	90.91%	50名